



全議案を承認

評議員会・全議案承認

物価・人件費増、減収6割

大幅プラス改定で“未来”創る

協会は5月10日、第31期第4回定時評議員会を協会会議室・WEB併用で開催。評議員109名のうち52名(委任状45名で採決し、次年度活動方針案「保険医が安心して『より良い保険医療』を国民に提供できる“未来”を創る」診療報酬大幅引き上げを求める運動の展開を」をはじめ全7議案が賛成多数で承認された。

田辺理事長は開会挨拶で、原材料や人件費、光熱水費・米などの価格の高騰に言及。また、保団連が行った物価高騰の影響調査結果を引き、収入が下がった医療機関は6割超、診療報酬改定で光熱費等の経費・人件費を賄えていない医療機関は9割とし、診療報酬プラス改定の必要性を訴えた。

医療費削減策への問題提起も

「25年度活動方針案」は二村副理事長が提案。長期収載品の選定療養化やOTC類似医薬品の保険外し、高額療養費制度の負担上限額の引き上げ等の患者負担増と、医療費削減の議論が続いている」と言及。対抗す

骨太骨子案に

「公定価格の引上げ」

自民内から「賃上げ確実に」

政府は5月26日の経済財政諮問会議で、6月にまとめる「骨太の方針2025」の骨子案を提出。全体の章立てを示し、「第3章 中長期的に持続可能な経済社会の実現」の中に「4. 物価上昇に合わせた公的制度的点検・見直し」とし、「足元の物価上昇に対応した公的制度的に係る閾値(基準値)の点検・見直し、公定価格の引上げ」を記載した。

「2026年度診療報酬改定の前期中改定も求められている状況であり、補助金と診療報酬の両面から対応が必要」と。自民党の「国民医療を守る議員の会(加藤勝信会長)」はこう決

議を取りまとめ、5月23日には日医とともに石破首相と面談、決議を提出した。決議は「骨太の方針2025に向けたもの。①経済成長に伴う増収分を安定的

「補助金と診療報酬の両面対応求める」

「2026年度診療報酬改定の前期中改定も求められている状況であり、補助金と診療報酬の両面から対応が必要」と。自民党の「国民医療を守る議員の会(加藤勝信会長)」はこう決

議を取りまとめ、5月23日には日医とともに石破首相と面談、決議を提出した。決議は「骨太の方針2025に向けたもの。①経済成長に伴う増収分を安定的

議を取りまとめ、5月23日には日医とともに石破首相と面談、決議を提出した。決議は「骨太の方針2025に向けたもの。①経済成長に伴う増収分を安定的

「2026年度診療報酬改定の前期中改定も求められている状況であり、補助金と診療報酬の両面から対応が必要」と。自民党の「国民医療を守る議員の会(加藤勝信会長)」はこう決

議を取りまとめ、5月23日には日医とともに石破首相と面談、決議を提出した。決議は「骨太の方針2025に向けたもの。①経済成長に伴う増収分を安定的

議を取りまとめ、5月23日には日医とともに石破首相と面談、決議を提出した。決議は「骨太の方針2025に向けたもの。①経済成長に伴う増収分を安定的

新聞「銷夏特集号」投稿募集

保険医新聞「銷夏特集号」(2025年8月5・15日号)は、会員からの投稿を中心に作成いたします。下記のテーマ投稿のほか、随筆、写真・絵画、俳句・短歌などの投稿もお待ちしております。

《投稿テーマ》

- ①「自由投稿」
- ②「戦後80年」
- ③「心に残る親の言葉」
- ④「私のリフレッシュ方法」

《文字数》700文字以内 “厳守”

《締切り》7月1日(火) 必着

《送付先》郵送、FAX、メール (kanahoi-shinbun@hoken-i.co.jp) 等でお送りください。ご不明点は新聞部まで (TEL 045-313-2111)。

※投稿は会員本人からの作品のみを受け付けさせていただきます。投稿者には薄謝を呈いたします。



杏林往来

私はラジオをよく聞く。この杏林往来のテーマも拾うことがある。災害時に持ち運びが得意、情報を得やすい。先日の欧州の停電でも、人々がラジオを買いに走ったそう。私たちがいろいろな媒体から情報を得る。新聞・テレビ・ラジオなどは、作り手の考えが出やすいと思う。YouTube・インターネットなどでAIによるレクシジョンは、皆さんも感じていると思う。それぞれターゲットとする層も違う。昨今、若い人の新聞、テレビ離れが進んでいると聞く。先日、保険医協会の医療・健康フェスティバルに参加した。協会だけでなく、友誼団体からも参加されていた。その中に民商(民主商工会)の方もいらした。私は参加する前から、民商のことを知っていた。それはよく聞くラジオ番組の中で、何度も聞いていたからだ。意見広告で、インボイス制度が導入される前に反対を打ち出していたと思う。私は協会でもこんなことを知ることができた。マイナ保険証、オンライン診療の現状、OTC薬など。医療の収入は、保険診療では診療報酬のみで消費財をいくらか使っても請求ができないことなどは、国民がどれくらい知っているだろうか。費用や決まりなど制約があると思うが、広報の手段の1つとしてラジオはどうだろうか。今後、国民に広く今の医療界の現状を知ってもらい、味方になってもらえればと思う。(AS)